

N O V A R T I S Foundation (Japan) for the Promotion of Science

10-66, Miyuki-cho, Takarazuka 665-8666, Japan

Telephone: 0797-74-2460

Fax: 0797-74-2409

2000年3月16日

報道関係者各位

財団法人ノバルティス科学振興財団

平成11年度(財)ノバルティス科学振興財団
研究奨励金および各種助成金贈呈対象者決定

助成金総額 6,520万円、贈呈対象者 67名

財団法人ノバルティス科学振興財団【所在地：兵庫県宝塚市、理事長：竹内 郁夫 / 京都大学名誉教授】は、1月28日に開催した理事会および評議員会において、「平成11年度研究奨励金および各種助成金贈呈対象者」を決定しましたのでお知らせいたします。

助成プログラム	贈呈対象者	助成金額 / 件	応募件数
研究奨励金	41	120万円	194
日欧研究者交流助成金	4	150～220万円	25
研究集会助成金	10	50万円	11
海外学会出席助成金	8	20万円	13
特別助成金	4	30～40万円	4
合計	67名	6,520万円	247件

当財団は、1987年の設立以来、生物・生命科学およびそれに関連する化学の領域において、創造的な研究およびそれに携わる研究者間の国際的交流に対し助成を行っております。今年度は、全国の大学や研究機関の学長、学部長、学科長、研究所長など、総数405名に候補者の推薦をお願いいたしました。

平成11年度奨励金および各種助成金贈呈対象者リストを別添しましたのでご覧ください。

お問い合わせ先

ノバルティス ファーマ株式会社

広報グループ 渡辺 邦男 03-3797-8027 / FAX 03-3797-4367

平成11年度 ハルティス研究奨励金贈呈対象者

50音順 敬称略
(1件 120万円)

氏名	所属・職位	研究課題
アダチ マサアキ 安達 正晃	札幌医科大学 内科学第一講座 講師	消化器系上皮細胞におけるシャペロン 調節蛋白BAG-1の機能解析
アベ タカアキ 阿部 高明	東北大学医学部 生体情報学 助手	中枢神経系に発現している新規プロス タグランジンD2トランスポーターの 構造・機能解析
アリモト ヒロカズ 有本 博一	静岡大学理学部 化学科機能化学講座 助教授	多剤耐性菌に対抗する新分子デザイン の研究：バンコマイシンポリマーの合成 と抗菌作用機構
ウエニシ ジュンイチ 上西 潤一	京都薬科大学 薬化学教室 教授	In vivoにおける抗腫瘍活性を目指した アセトマイシン誘導体の分子設計
ウエムラ タダシ 上村 匡	京都大学ウイルス研究所 遺伝子動態調節研究部門 教授	Wntシグナル伝達を調節する新しい 因子の探索：AGO1遺伝子ファミリー の機能解析
エグチ タダシ 江口 正	東京工業大学大学院理工学研究科 物質科学専攻 助教授	古細菌細胞膜脂質における特異な炭素 -炭素結合の生合成機構に関する研究
オオタニ トオル 大谷 亨	北陸先端科学技術大学院大学 材料科学研究科機能科学専攻 助手	シクロデキストリン-ペプチド薬物結 合体とポリ(エチレングリコール)を基 本骨格とした超分子製剤に関する研究
オガワ ヨシヒロ 小川 佳宏	京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学第二内科 助手	C型ナトリウム利尿ペプチド(CNP) の生理的・病態生理的意義の解明：ノッ クアウトマウス及びトランスジェニック マウスを用いて
オザキ ノリオ 尾崎 紀夫	藤田保健衛生大学医学部 精神医学教室 教授	精神疾患での向精神薬反応性に関連す る多型検索と関連性解析
カタヤマ ツトム 片山 勉	九州大学大学院薬学研究科 分子生物薬学分野 助手	大腸菌染色体複製サイクルの制御機構

氏名	所属・職位	研究課題
クボ マサト 久保 允人	東京理科大学生命科学研究所 免疫生物学部門 講師	T細胞機能分化を制御するサイトカイン レセプターシグナル伝達機構の解析
クワノ リョウイチ 桑野 良一	京都大学大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 助手	光学活性 - アルキル - - アミノ酸 の触媒的不斉合成
サトウ シンイチ 佐藤 伸一	金沢大学医学部附属病院 皮膚科 講師	L-selectin 及び ICAM-1 の創傷治癒に おける、in vivoの役割について
シゲヨシ ヤスフミ 重吉 康史	近畿大学医学部 第二解剖学教室 教授	電子顕微鏡を用いた時計関連タンパク 複合体の可視化の試み、及びその生体へ の応用
シラタキ ヒロミチ 白瀧 博通	獨協医科大学医学総合研究所 分子細胞生物学分野 教授	極性形成におけるRho、Rab低分子量G蛋 白質の機能と作用機構
スギウラ レイコ 杉浦 麗子	神戸大学医学部 薬理学講座 講師	分裂酵母モデル系を用いたカルシニュー ーリンと機能的に関連する因子の同定 及び解析
スギヤマ ヒロシ 杉山 弘	東京医科歯科大学学生体材料工学研究所 機能分子部門 教授	アルキル化能を持つポリアミドを用いた テーラーメイド抗がん剤の分子設計
タケダ キヨシ 竹田 潔	大阪大学微生物病研究所 癌抑制遺伝子研究分野 助手	インターロイキン10による抗炎症作用 の分子機構の解析
タケナカ アキオ 竹中 章郎	東京工業大学大学院生命理工学研究科 分子生命科学専攻 助教授	RNAの立体構造構築原理と機能の特 異性
タサカ マサオ 田坂 昌生	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科細胞生物学専攻 教授	植物の茎頂ならびに根端分裂組織形成 の分子機構
タナカ シンジ 田中 真二	九州大学医学部附属病院 第二外科 助手	新しい癌血管新生因子angiopoietinの シグナル伝達制御による癌治療の開発

氏名	所属・職位	研究課題
タナカ マサキ 田中 雅樹	京都府立医科大学 第二解剖 助教授	神経因性疼痛モデルにおける後根神経細胞の感作メカニズムについての研究
タニノ ケイジ 谷野 圭持	北海道大学大学院理学研究科 化学専攻分子変換化学講座 助教授	高次構造天然物インゲノールおよび類縁体の化学合成
タムラ タカアキ 田村 隆明	千葉大学大学院自然科学研究科 生命資源科学専攻 教授	生殖系列特異的新規DNAヘリカーゼTIP49の機能解析
トイ マサカズ 戸井 雅和	東京都立駒込病院 外科 医長	癌患者における血管新生制御因子の血中動態とその臨床的意義に関する研究
トウハラ カズシゲ 東原 和成	東京大学大学院新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻 助教授	昆虫フェロモン受容体の遺伝子クローニングおよび機能解析
トミナガ マコト 富永 真琴	筑波大学基礎医学系 分子神経生物学 講師	痛み受容機構の解明：冷刺激受容体遺伝子のクローニング
ナカガワ ヤスヒト 中川 靖一	北里大学薬学部 衛生化学教室 教授	リン脂質ヒドロペルオキシドグルタチオンペルオキシダーゼ (PHGPx) によるアポトーシスにおけるシトクロムcの遊離抑制機構の解明
ナガサワ トオル 長澤 透	岐阜大学工学部 生命工学科応用分子生物学講座 教授	炭酸固定を触媒する新規脱炭酸酵素群によるCO ₂ の精密分子変換技術の確立
ナカヤマ ケイイチ 中山 敬一	九州大学生体防御医学研究所 細胞学部門 教授	神経変性疾患の発症機序の解明と遺伝子治療への応用
ノグチ タミオ 野口 民夫	名古屋大学大学院生命農学研究科 応用分子生命科学専攻 教授	肝細胞の発生と分化におけるホメオボックス遺伝子Hexの役割の解明
ハタ ユタカ 畑 裕	東京医科歯科大学医学部 分子医化学講座 教授	足場蛋白質を中心とする神経シナプス構成分子の神経シナプスへの集積の時系列的解析

氏名	所属・職位	研究課題
ヒキダ マサキ 疋田 正喜	岡山大学工学部 生物機能工学科 講師	末梢リンパ組織における抗体可変部再構成の果たす役割に関する研究
ヒロセ ユタカ 広瀬 豊	金沢大学がん研究所 細胞制御研究部門 助手	転写及びmRNAプロセッシングをカップルさせている核内分子機構の解析
フナツ タカシ 船津 高志	早稲田大学理工学部 物理学科 助教授	超分子複合体中の生物分子モーターATPaseの顕微解析
ホリウチ マサツグ 堀内 正嗣	愛媛大学医学部 医化学第一講座 教授	血管病変に伴い特異的に発現するアンジオテンシン タイプ2受容体の病態生理学的意義の解明：血管リモデリングの改善、動脈硬化予防を目的とした、遺伝子改変マウスモデルを用いた研究
マツザキ カツミ 松崎 勝巳	京都大学大学院生命科学研究科 システム機能学分野 助教授	両親媒性ペプチドの膜透過機構の解明と応用
ミズノ ケンサク 水野 健作	東北大学大学院理学研究科 生物学専攻 教授	神経突起の伸展・退縮におけるLIMキナーゼの役割の解明
トミタ トシオ 宮田 敏男	東海大学 総合医学研究所 助教授	進行性糸球体疾患に關与する機能遺伝子群の同定とそれに基づく新規治療法の確立
ミヤモト マサアキ 宮本 昌明	神戸大学大学院自然科学研究科 生命科学専攻 助教授	遺伝学的手法を用いたセリンスレオニンキナーゼPKNの生体内における機能の解析
ヤギサワ ヒトシ 八木澤 仁	姫路工業大学理学部 生命科学科 助教授	イノシトールリン脂質群による細胞内シグナリングの可視化とその制御機構の解析

平成 11年度日欧研究者交流助成金贈呈対象者

50音順 敬称略

氏 名	所 属 (職 位)	研究テーマ	受け入れ研究機関 及び 指導研究者	助成金額
アイダ ミツヒロ 相田 光宏	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 (Research Associate)	高等植物の胚パターン 形成の分子遺伝学的解 析	Dept.of Molecular Cell Biology,Utrecht Univ., Netherlands Dr.Ben Scheres	150万円
ニシムネ ヒロシ 西宗 裕史	Institute National De La Santé et de La Recherche Médicale U.382 [France] (Research Fellow)	Reg-2により媒介される 神経栄養信号伝達系路 の、EGFノックインマウ スを用いた解析	Devlopmental Biology, Institute.of Marseille U.382,France Dr.Christopher E Henderson	220万円
Prieto Rafael	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 (Postdoctoral Fellow)	細胞伸長制御に関する 細胞膜結合性推定複合 体の機能解析	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 助教授 橋本 隆	220万円
Mouad Lamrani	東北大学大学院理学研究科 (Postdoctrnal Position)	フーレン・加ホルン棒状およ びV型ハイブリッド・非線形 材料のための二対及び 三対クラスター	東北大学大学院 理学研究科 化学専攻 教授 山本 嘉則	220万円

平成11年度(第13回) 研究集会助成金贈呈対象集会

(贈呈金額 : 1件 50万円)
(受付順、敬称略、所属・職位は申請時を示す)

研究集会名	開催期日 (開催地)	助成先代表者	
		所属・職位	氏名
第11回チトクロムP450 -生化学、生物物理学及び分子生物学- に関する国際会議	1999 8.29 - 9.2 (仙台市)	東北大学大学院 理学研究科 教授	フジイ シンアキ 藤井 義明
第23回 国際アレルギー会議	2000 5.19 - 5.23 (箱根町)	日本臨床アレルギー-研究所 所長	シヤモトテルマサ 宮本 昭正
色素細胞発生の細胞・分子調節	1999 11.4 (名古屋市)	京都大学大学院 医学研究科 教授	ニシカワ シンイチ 西川 伸一
有機合成岡山国際会議	2000 10.14 - 10.15 (岡山市)	岡山大学工学部 教授	タカイ カズヒコ 高井 和彦
国際仙台ヒスタミンシンポジウム	2000 11.22 - 11.25 (仙台市)	東北大学大学院 医学系研究科 教授	ワタナベ タケヒロ 渡邊 建彦
第4回 国際プロテインホスファターゼカンファレンス: 細胞内シグナル伝達におけるプロテインホスファ ターゼの役割	2000 11.10 - 11.12 (仙台市)	東北大学 加齢医学研究所 教授	タムラ シンリ 田村 眞理
第13回 国際電気生理運動学会	2000 6.25- 6.29 (北海道)	北海道大学 医学部 教授	マノ ユキオ 眞野 行生
国際痴呆シンポジウム - 記憶障害の分子機構から治療まで -	1999 9.1 - 9.13 (神戸市)	兵庫県立 高齢者脳機能研究センター- 名誉所長	タナカ チカコ 田中 千賀子
第3回 国際受容体・シグナリング・薬物作用シン ポジウム	2000 3.25 - 3.26 (横浜市)	東京大学大学院 薬学系研究科 教授	ナガオ タク 長尾 拓
生殖戦略国際会議	1999 11.25-11.28 (葉山町)	東京工業大学 生命理工学部 教授	ホシ モトリ 星 元紀

平成11年度(第9回) 海外学会出席助成金贈呈対象者

(贈呈金額 : 1件 20万円)
(受付順、敬称略、所属・職位は申請時を示す)

推薦候補者		出席学会名	開催期日 (開催地)
氏名	所属・職位		
小内 清 オチキヨシ	岡崎国立共同研究機構 基礎生物学研究所 研究員	第10回 シロイヌナズナ研究における国際会議	1999 7.4-7.8 (オーストラリア)
稲津 裕司 イナヅ ユウジ	東北大学大学院 理学研究科生物学教室 大学院生	細胞性粘菌国際会議 '99	1999 8.14-8.19 (アメリカ)
古本 強 フルモトツヨシ	東京大学 理学部生物学科 助手	ゴードン会議	1999 9.12-9.17 (イギリス)
片桐 健 カタギリ タケシ	理化学研究所 植物分子生物学研究室 研究員	酸化ストレス、浸透圧ストレスに対する細胞応答 シグナルの受容、伝達、遺伝子発現	1999 8.28-8.31 (オランダ)
植木 龍也 ウエキ タツヤ	広島大学 理学部附属臨海実験所 助手	第5回 国際比較生理生化学会議	1999 8.23-8.29 (カナダ)
内田 敦子 ウチダ アツコ	東京工業大学大学院 生命理工学研究科 大学院生	国際神経化学会・ヨーロッパ神経化学会合同会議	1999 8.8-8.14 (ドイツ)
野村 琴広 ノムラ コトヒロ	奈良先端科学技術大学院大学 物質科学教育研究センター 助教授	高分子国際会議	2000 7.9-7.14 (ポーランド)
林 高史 ハヤシ タカシ	九州大学大学院 工学研究科 助教授	第1回 ポルフィリン及びフタロシアニン国際会議	2000 6.25-6.30 (フランス)

平成11年度(第6回) 特別助成金贈呈対象課題

(受付順、敬称略、所属・職位は申請時を示す)

対象課題又は研究活動	課題内容又は研究活動の概略	代 表 者		助成金額
		所 属 ・ 職 位	氏 名	
核酸とシグナル伝達の国際シンポジウム	Khora博士の核酸合成とシグナル伝達の分野における輝かしい成果と長年の研究者育成の業績を記念して、核酸および遺伝子の構造と機能、シグナル伝達における膜蛋白質などをテーマとして国際シンポジウムを2000年7月米国マサチューセッツにおいて開催する。	萬有製薬(株) つくば研究所 名誉所長	ニシムラ ススム 西村 暹	30万円
非選択的陽イオンチャンネルのcDNAクローニングおよびこのチャンネルの生理機能の解析	エンドセリンにより活性化される非選択的陽イオンチャンネルのcDNAクローニングを行い、このチャンネルの構造・機能及びその組織分布に関する研究を行う	京都大学大学院 医学研究科 研修員	チヨウギョウホウ 張 曉峰	30万円
第一回ポルフィリン及びフタロシアニン国際会議	ポルフィリンおよびその類縁体化合物の物理化学、有機化学、生物化学、材料科学、医学、薬理学など幅広い分野をカバーした第1回の記念すべき国際研究集会であり、今後のポルフィリン科学の飛躍的発展に貢献する。2000年6月フランスにて開催する。	大阪大学大学院 工学研究科 教授	フクスジユンイチ 福住 俊一	40万円
RNA・蛋白質相互認識:基礎研究の新展開と臨床へのトランスレーション	近年の「RNAワールド」に関する研究の展開は著しい。本シンポジウムでは、ノーベル賞受賞者T.Cech博士ら、最先端の研究者を招き、RNA-蛋白質相互作用に関する基礎研究から臨床への応用研究までをカバーした話題についての講演討議を公開で行う	東京大学 医科学研究所 所長	アライ ケンイチ 新井 賢一	30万円